

公益社団法人日野市シルバー人材センター
平成 29 年度事業計画

I 平成 28 年度の状況

平成 28 年度は、28 年 6 月の第 67 回定時総会で監事 1 名が改選され、新たな役員体制が発足しました。27 年度は事業実績が対前年度比 7.8% 増（都内 58 のシルバー人材センターにおいては、区・市部でトップ）となりましたが、さらなる事業展開を図るポイントとして広報委員会を新設し、ホームページのリニューアルを始め、対外的広報の充実を行ってまいりました。当サイトへの訪問者数もリニューアル前のほぼ 2 倍となっており、効果が現れています。

就業においては、4 月から介護予防・日常生活支援総合事業（以下、新総合事業という）がスタート。要員確保のための継続的な講習を含め、着実に就業に結び付けました。また、平成 29 年 4 月開始予定を前倒しして、7 月からスタートした一般労働者派遣事業は、市場のニーズに適合する業種として保育分野など、結果的に女性会員の職場拡大の成果が現れ、今後の事業展開に弾みがつきました。

このような状況を受け、平成 29 年度においては、以下の三本柱を重点項目として活動を進めてまいります。

- 就業機会の拡大と提供
- 会員の増強
- 地域活動の充実

今後も日野市などの公共団体や市民、市内事業所の信頼を得ながら公益法人としての社会的使命を果たすべく、基本理念である「自主・自立」「共働・共助」の考えに基づき、会員一丸となって事業を推進するため、次の基本方針に基づいて事業計画を策定しました。

II 基本方針

- 1 基本理念の一層の理解と浸透に努め、組織の発展と強化を図る。
- 2 高齢者に適した就業機会を拡大し、社会参加を促進する。
- 3 対外広報を積極的に展開し、事業の認知度向上および会員の増強を図る。
- 4 地域活動、会員相互の交流を促進し、地域活動を充実する。
- 5 就業および組織活動における安全管理を強化する。

III 事業実施計画

1 就業機会の拡大と提供

(1) 既存事業の拡大

日野市との綿密な連携により更なる理解と支援を得て、公共事業の就業機会の拡大に取り組めます。また、市内事業所、一般家庭への就業開拓体制を強化して、就業機会を拡大します。さらに、対外広報活動の積極的な展開や事業の宣伝活動の強化により、独自事業を始めとする民間事業の拡大を図ります。

(2) 新規事業開拓への取組み

先般実施された会員アンケート調査の結果、就業先および職種の多様化を求める声が圧倒的に多いことが明らかになりました。それらの要求に応えるために、新たな事業の開拓に取り組めます。

- ア シルバー多機能サロンの事業化研究
- イ 買物代行サービスの事業化研究
- ウ 会員の所有する資格・技能・技術を活用した新規事業
- エ 介護施設・保育施設への人材派遣
- オ スーパーマーケット等への人材派遣

(3) 女性会員の就業機会の拡大

女性会員を増やすために、女性会員が魅力を感じ、就業しやすい仕事を増やします。

- ア 家事援助事業の拡大
- イ 新総合事業の拡大
- ウ 手芸品製作販売事業の育成
- エ 上記(2) 新規事業開拓
- オ 事務系仕事の開拓

(4) 適正就業、人材派遣事業の推進

昨年7月に開始した人材派遣事業は、適正就業（法令遵守）の観点から受注できなかった仕事を中心にして、順調に受注実績を伸ばしており、都下58センターの中で指折りの実績をあげています。引き続き、就業開拓チームによる、積極的な活動を展開します。また、既存の契約のうち、請負になじまないものを、人材派遣に移行するように努めます。

2 会員の増強

(5) 会員増強対策

平成27年度、過去4年に渡った会員減少に歯止めをかけました。さらに、平成28年度は、会員数を大幅に増やしました。その間、取組んだ総合的な会員増強対策が効果的であったことが証明されました。総合的会員増強対策は、3つの対策から成ります。

- ア 入会会員を増やす対策
- イ 退会会員を減らすための就業機会を拡大する対策
- ウ センターの魅力をアップする対策（会員交流）

平成29年度は、幾つかの対策を追加して、より強力な会員増強活動を展開します。

(6) 対外広報の強化

入会会員を増やすために、広報を強化します。従来、広報ひのに広告記事を載せて、毎月、入会案内説明会を開催していました。年間、約 300 人の新入会員を得て、安定していました。ところが、平成 26 年度は、入会会員が 205 人に激減しました。

平成 28 年度、下記の対策を追加して、約 300 人の入会会員を回復しました。

- ア 会員募集チラシ全戸配布（年間 2 回）
- イ 女性限定入会案内説明会の開催（年間 3 回）
- ウ イベント開催・出展（シルバーいきいき祭り、まちづくり市民フェア）
- エ 市民対象の講習会の開催
- オ ホームページのリニューアル（改良）

平成 29 年度は、さらに、次の対策を追加します。

- カ 広報ひのに広告を掲載
会員アンケート調査によれば、センターを知ったのは、「広報を見て」が 61%と、圧倒的多数を占めており、最も有力な宣伝媒体です。
- キ 会員お誘い運動の展開
2 位は、口コミ（26.7%）です。会員の皆様に、ご協力をお願いします。

(7) 会員の交流促進

会員アンケート調査によれば、「センターに入会して、どんな点が一番よかったですか」の問いに、「友人や仲間ができた」等、会員の交流を挙げた会員が、42.5%に達しています。現役を退いた高齢者にとって、会員交流は、センターの魅力を増す大事な要素であることが明らかです。

平成 29 年度においては、次の会員交流会を開催します。

- ア 女性会員交流会
- イ 就業会員交流会（職種別、職場別交流会）
- ウ 一般的な会員交流会（ア、イ以外の交流会）

(8) 共助的組織の研究

会員交流の究極的な発展形が、互助会とか、共助会と呼ばれる組織です。会費制の組織で、各種文化サークル、スポーツサークル、娯楽サークルを支援するほか、バス旅行や会員作品展などのイベントを開催します。当センターでも、昔、構想が持ち上がりましたが、十分な賛同者を得られず、実現しませんでした。

平成 28 年度に会員相互交流 P T（プロジェクトチーム）が、町田市シルバー人材センターの実施例を調査しました。引き続き、構想の研究を行います。

3 地域活動の充実

(9) 市内美化運動

公益法人の役割として、従来から行ってきた市内美化のための清掃を実施します。

- ア 多摩川・浅川クリーン作戦（4月）
- イ 全地域班一斉清掃（7月、10月）
- ウ 公園、駅周辺、道路清掃

(10) 社会奉仕活動の多様化

社会奉仕活動の積極的な展開と多様化に努めます。

- ア 小学校防犯パトロール
- イ 市立小学校・中学校のあいさつ運動
- ウ 東京マラソン会場ボランティア
- エ 高齢者見守り支援「気かけ運動」
- オ 市内他団体との交流

(11) 地域班の活性化

会員アンケート調査によれば、地域班会議のあり方について、抜本的な見直しを求める声が多数ありました。寄せられた声に向き合い、具体的な改善策を提示し、実行します。

- ア 地域班活動の活性化
- イ 地域班会議の内容充実

4 安全就業

(12) 事故発生件数を減らすための取組み

「安全はすべてに優先する」をモットーとして、就業途上および就業中の安全確保に努めます。平成28年度、目標の事故件数8件以下を達成しました。安全管理委員会の精力的な活動と、会員の皆様の安全意識の高まりの賜物です。

平成29年度も引き続き、事故件数の更なる減少を目指して、下記を実施します。

- ア 職場の安全巡回の実施
- イ 安全講習会、作業機械等取扱い講習会の開催
- ウ 安全就業基準自己チェックの実施

(13) 交通安全対策

就業途上の事故撲滅を目指して、自転車シミュレータによる交通安全教室を開催します。

(14) 安全意識の醸成

就業期限確認書を交付する職場に、新たに就業する場合は、安全管理委員長の安全講話を行い、就業における事故の未然防止と安全就業への意識向上に努めます。また、会員の体力と健康の過信を防ぐために、下記を実施します。

- ア 就業会員向け「体力測定会」
- イ 健康診断受診等に関する情報の提供

5 その他の施策

(15) 会報紙（誌）の発行

従来から続けてきた下記2紙（誌）を発行します。

- ア 月刊さわやか
- イ シルバーひの（年間2回発行）

(16) 第6次中期計画の策定

平成28年度下期から作業を始めた第6次中期計画（平成27年度～平成31年度）を策定します。本中期計画の特徴は、先般実施された会員アンケート調査の結果に向き合うものであることです。勿論、アンケート調査の結果は、本事業計画にも採り入れられています。

【各委員会の取り組み】

○総務委員会

- ・民間職場の就業期限およびワークシェアリングの検討
- ・会員相互の交流促進
- ・会員増強
- ・規程、要綱等の整備（就業調整委員会設置規程等）
- ・各委員会との連携強化により各種プロジェクトを遂行

○事業委員会

- ・シルバー多機能サロン事業化の研究
- ・買い物代行サービス事業
- ・会員の所有する資格、技能、技術を活用した新規事業
- ・他センターを参考にした事業の提案と立上げ

○業務委員会

- ・月次実績の分析、就業応募状況の観察
- ・職群班事業の規模拡大と機能改善
- ・清掃事業の再編

- ・ 就業会員交流会の開催
- ・ 新入会員のためのガイドブック作製

○地域委員会

- ・ 地域班の活性化
- ・ 地域班会議の内容充実
- ・ 清掃活動の充実
- ・ 小・中学校「朝のあいさつ運動」の拡大
- ・ 高齢者見守り支援「気かけ運動」の啓蒙
- ・ ボランティア活動の検討

○女性委員会

- ・ 女性会員の増強
- ・ 女性会員の就業機会の開拓、拡大
- ・ 女性会員の研修および市民・会員向け講習会等

○安全管理委員会

- ・ 自転車シミュレータによる交通安全教室の実施
- ・ 就業会員向け「体力測定会」の実施
- ・ 健康診断受診等に関する情報提供の充実
- ・ 安全講習会、作業機械等取扱講習会の実施
- ・ 安全就業基準自己チェックの実施

○広報委員会

- ・ 「月刊さわやか」と「シルバーひの」の発行
- ・ ホームページの管理・改良
- ・ 市内イベントへの出展（シルバーいきいき祭り、まちづくり市民フェア、産業まつり）
- ・ 「広報ひの」による宣伝活動